

# 別海町

～人がつながり 未来につながる 海と大地に夢があふれるまち～



別海町は、根室管内の中央に位置し、町域は、東西61.4km、南北44.3kmに広がり、総面積1,319.63km<sup>2</sup>を有しており、見通しの良い平野に牧草地が果てしなく広がるほか、海岸部には渡り鳥の中継地点として重要な役割を担う、ラムサール条約登録湿地である野付半島や野付湾、風蓮湖があり、豊かな自然環境に恵まれている。

豊かで美しい自然が広がる本町では、海岸部における漁業や内陸部における酪農が基幹産業として展開され、日本一の生乳生産量を誇る酪農王国であり、水産資源に恵まれた町である。

関連指標	数 値
【人 口】	15,005 人
【面 積】	1,319.63 km <sup>2</sup>
【出生数】	108 人
【世帯数】	6,727 世帯
【合計特殊出生率】	1.74

(出典：住民基本台帳 (R2.1.1), 人口動態統計)

## 1 町の特徴

別海町は、酪農と漁業が基幹産業であることからの第一次産業の割合が高い。

第一次産業は、地域に密着しており、三世帯同居による家庭内育児環境や地域における子育て支援が充実し、また、基幹産業による地域経済も安定しているため、若年層が定着しやすく、安心して子育てができる環境が整っていると思われる。

また、町立別海病院の助産師が母子健康センター職員を兼ねており、母子手帳の交付をはじめとして、妊娠期から出産後まで、妊婦・産婦に寄り添った支援をしていることや、24時間相談電話を実施し、妊娠期や育児期など困った時にいつでも相談できる体制となっていることは、子育てをする親の安心感につながっている。

## 2 町独自の少子化対策・子育て支援施策

- (1) 子ども医療費助成制度：中学校卒業までの子ども医療費のうち保険診療自己負担分を全額助成
- (2) 福祉牛乳の無償支給：妊産婦、幼児、ひとり親家庭等にべつかい牛乳の無償支給実施（毎週5個）
- (3) 妊婦健診、超音波検査費助成：妊婦検診（14回分）、超音波検査（6回分）及び道外への医療機関等での妊婦健診費用の一部助成
- (4) 新生児聴覚検査費用の全額助成：生後1週間以内に実施される新生児聴覚検査費用及び再検査となった場合の検査費用を全額助成
- (5) 産後ケア（デイケア型・宿泊型）の実施：産後に心身の不調や育児不安等がある方を対象に、  
デ

イケア型（3時間以内）や宿泊型の産後ケアを実施しており、宿泊型の費用を一部助成している。

(6) 母乳外来の実施：出産、退院直後から断乳、卒乳まで、母乳育児に関する相談や定期的な乳質管

理、母乳トラブルへの対応を行っている。

(7) 出産祝い金贈呈：第1子3万円、第2子5万円、第3子7万円、第4子以降10万円を贈呈（祝金のうち半額分は、別海町商工業振興協同組合の商品券）



(中央公民館まつりの様子)



(すくすく学級の様子)

### 3 施策を実施するに至った背景及び今後の展望

近年、少子超高齢社会の進行や核家族化の定着、保護者の就労環境の変化など、親子を取り巻く環境が大きく変化しており、また、子育てに対する価値観の多様化や、地域住民とのつながりの希薄化もあり、子育てに不安を抱える保護者が増加している。

本町では、「別海町子ども・子育て支援事業計画」に基づいて各種事業を進めており、町内の公立・私立の認定こども園やへき地保育園と連携し、子ども・子育て支援法に基づく保育環境の整備を図っており、子育て支援センターや乳幼児母親家庭教育学級により、育児教育や相談及び子育ての情報提供に

努めている。

また、保護者が就労している児童の放課後等の健全育成を目的とする放課後児童クラブの設置やひとり親家庭への支援など、各種子育て支援事業を実施している。

次代を担う子どもが健やかに育つよう、「別海町子ども・子育て支援事業計画」に基づき、保護者が安心して子育てができるよう、妊娠期から出産、育児期に渡り切れ目のない、多面的な子育て支援施策を計画的に推進する。

